



先日、宮崎の実家から採れたての「日向夏」が送られてきました。



名前に「夏」という表現がありますが、春から初夏にかけて出荷されるものようです。箱を開けるとレモンのような鮮やかな明るい黄色が目飛び込んできます。

早速実家にお礼の電話をしたところ、「豊中は毎日大変みたいね」ってなぜか心配されました。(^_^)

そうなんです。今、森友学園が建設予定だった小学校は、僕が住む豊中にあるのですが、やっぱり全国でもニュースになってるみたいで。民放2局しかない宮崎の人が知ってるくらいです



から。もっと何か良いことで有名になればいいのですけどね。トホホです。(>_<)

実家の母は、僕が一人暮らしを始めた学生時代から、新米が出たら送ってくれたり、実家に帰れない正月の前には餅を、誕生日にはプレゼントをくれたり・・・。何かにつけて送ってくれます。有り難いことです。

思えば、学生時代から10年以上の一人暮らしの期間がありましたので、不在の際の再配達も多く、僕はずいぶん宅急便のお世話にはなってきました。



今年の1月もそうでした。僕が住んでいる大阪・豊中市に雪が積もったことがありました。

その日我が家の全員が外出していたので、帰宅すると要冷蔵の宅急便不在連絡票が入っていました。

すぐに夕方に届けてもらえるよう再配達をお願いしたのですが、結局届いたのは20時位だったでしょうか。「申し訳ありません」と言われましたが、悪天候の中でした。謝りたいのはこっちの方です。

さて日経新聞は、宅配最大手、ヤマト運輸の2017年の春季労使交渉が16日、妥結したと報じました。

インターネット通販の荷物の急増と人手不足で従業員が長時間労働を強いられていることから、

ヤマトと労働組合は賃上げとともに働き方改革を協議。そして荷物の総量抑制や時間帯指定サービスの一部廃止で合意したとのこと。荷物の総量規制を図るということは、裁いた荷物に応じて歩合給で賃金を支給される従業員にとっては、賃金が減るという可能性があります。

もっと働きたいという従業員がいたとしても、長時間労働なら「悪」。減らすしかありません・・・。



そんなヤマトの今後の焦点は、ネット通販大手、アマゾンジャパンとの値上げ交渉となります。

日経の読者アンケート「クイックVote」の「ヤマト運輸の値上げ、賛成ですか？」の回答は途中経過ではありますが、圧倒的に賛成多数。世論はヤマトを支持しているようです。(3月20日時点では80%超が賛成) 人手不足、過当競争そして大企業のコスト抑制のあおりを受けて、経営に窮している中小、零細企業はいっぱいあると思います。依頼主に料金のアップを申し出たいけど、それはなかなか難しいこと。

今回のヤマトの動きに追随したいと、期待を寄せる中小企業、零細企業も多いのではないのでしょうか。

僕は、宇宙戦艦ヤマトの歌詞の一節を思い出しました。(^^)

地球を救う 使命を帯びて 戦う男 燃えるロマン

誰かがこれを やらねばならぬ 期待の人が 俺たちならば
作詞:阿久悠



再配達してー。



はいそうですか。
(配達だけに)

政府の「働き方改革」は、一定の残業規制と繁忙期の緩和措置、建設業と運送業への緩和措置を設け、後はそれぞれの企業にバトンを委ねた感があります。

誰かがやらねばならぬ空前絶後の「働き方改革」。皆さんの職場では進んでいますか？